

RYOBI**ブレーキ付胴付丸ノコ**

DW-630S

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

6981967



●特 長

- 鋸刃交換用レバーの採用によりスパナ1本です早く鋸刃の交換を行えます。
- 片手作業に最適なハンドル形状と軽量設計は、作業能率を向上させ疲れを感じさせません。
- ニッケルメッキを施したアルミダイカスト定盤は、角度微調整付ですから堅牢で正確性に優れ、材料を汚すこともありません。
- 胴付加工に最適な60枚刃チップソーが通常付属品となっており、美しい加工面が得られます。
- 傾斜切断に便利な傾斜定規が通常付属品となっております。
- スイッチを切ると瞬時に鋸刃が停止するブレーキ機構の採用により、安全性に対する信頼は抜群です。

●仕 様

- 電圧…………… 100V
- 電流…………… 11A
- 消費電力…………… 1,050W
- 回転数…………… 4,500 R.P.M.
- 最大切込み深さ…………… 63mm
- 丸鋸寸法…………… 外径190mm (内径20mm)
- 重量…………… 4.2kg

●通常付属品

- チップソー…………… 1
(外径)190mm (内径)20mm (刃数)60枚
- ボックススパナ…………… 1
- ソーガイドフェンス…………… 1
- 傾斜定規…………… 1

●用 途

- 各種木材の切断
(直角切り作業に最適です。)
- ミゾホリ加工
(特別付属品のミゾホリカッター使用)

●特 長

- 鋸刃交換用レバーの採用によりスパナ1本です早く鋸刃の交換を行えます。
- 片手作業に最適なハンドル形状と軽量設計は、作業能率を向上させ疲れを感じさせません。
- ニッケルメッキを施したアルミダイカスト定盤は、角度微調整付ですから堅牢で正確性に優れ、材料を汚すことはありません。
- 胴付加工に最適な60枚刃チップソーが通常付属品となっており、美しい加工面が得られます。
- 傾斜切断に便利な傾斜定規が通常付属品となっております。
- スイッチを切ると瞬時に鋸刃が停止するブレーキ機構の採用により、安全性に対する信頼は抜群です。

●仕 様

- 電圧..... 100V
- 電流..... 11A
- 消費電力..... 1,050W
- 回転数..... 4,500 R. P. M.
- 最大切込み深さ..... 63mm
- 丸鋸寸法..... 外径190mm (内径20mm)
- 重量..... 4.2kg

●通常付属品

- チップソー..... 1
(外径)190mm (内径)20mm (刃数)60枚
- ボックススパナ..... 1
- ソーガイドフェンス..... 1
- 傾斜定規..... 1

●用 途

- 各種木材の切断
(直角切り作業に最適です。)
- ミゾホリ加工
(特別付属品のミゾホリカッター使用)

●ご使用に当りましての注意事項

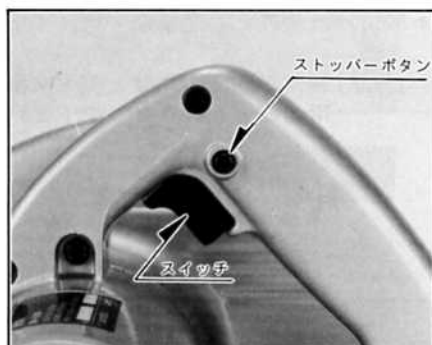
本機を使用する前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

- さし込みプラグを電源に接続する前に丸鋸刃は使用説明に従って正しく、しっかりと締付けられているか確認して下さい。
- 安全カバーを固定して使うことは危険ですので絶対に固定しないで下さい。
- 安全カバーは身体が鋸刃に触れるのを防ぐものです。必ず鋸刃を覆い、円滑に動くことを確認してからお使い下さい。
- 材料に釘などの異物がないことを確認して下さい。異物があれば鋸刃が破損することがあり危険です。
- 切断ライン上からコードは離れた位置にあることを確認して下さい。感電の恐れがあります。
- 工具の掃除や、切込み深さ調節、角度の調整、整備点検、部品の交換の際は必ずスイッチが切れていることを確認し、さし込みプラグを電源より外して下さい。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますとモーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足になります。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶつかったりした場合は異状の有無を確認した後、ご使用下さい。
- 運転中は鋸刃及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。鋸刃は常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工を始めて下さい。安全で能率よく、きれいな仕上面が得られます。
- 湿った場所、ぬれた場所での使用は避けて下さい。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
- 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には、作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
- 作業時の服装は身軽なもので行って下さい。ネクタイ、袖口の開いた服装は機械の可動部に巻き込まれる恐れがあります。屋外の作業はゴム底の運動靴をはいて下さい。
- 本機はお子様の手の届かない所に保管し、湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光のあたるところは避けて下さい。
- 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は使用後はすぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。

- さし込みプラグを電源にさし込む前にスイッチが切れていることを確認し、使用後及び停電の際にはさし込みプラグを抜くように心掛けて下さい。
- 運転中機械の調子が悪かったり、異状に気付いた時には直ちに使用を中止して下さい。
- 作業中は安全メガネをかけて目を保護して下さい。ほこりの多い作業にはマスクが必要です。
- 感電事故を防止する為にアースクリップを接地して下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただく為には、作業前の機械の点検と、定期点検が必要です。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売網営業所にお問い合わせ下さい。

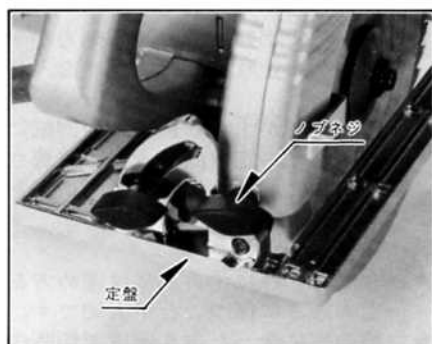
●スイッチ

- 本機はスイッチを切ると瞬時に鋸刃が停止するブレーキ付となっております。
- スイッチ操作はスイッチを引くと入り、離すと切れます。又、スイッチを引いた状態で握り部の側面にあるストッパーボタンを押すと、スイッチより指を離してもスイッチは入ったままになります。この場合、再度スイッチを引くとストッパーボタンが外れ、スイッチは切れます。連続使用の場合はこのストッパーボタンをご利用下さい。



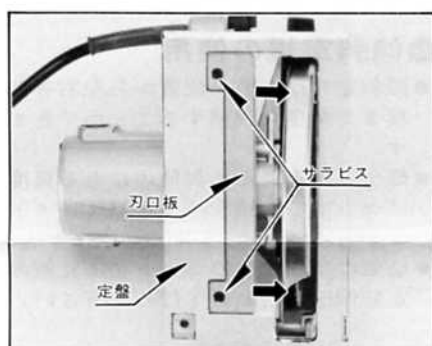
●切込み深さの調節

- 切込み深さ調節ノブネジをゆるめると定盤が上下に移動します。
- お望みの切込み深さに位置を決め、切込み深さ調節ノブネジをしっかり締付けて固定して下さい。
- 切込み深さ寸法は定盤面から出ている丸鋸刃の寸法を測って決めます。



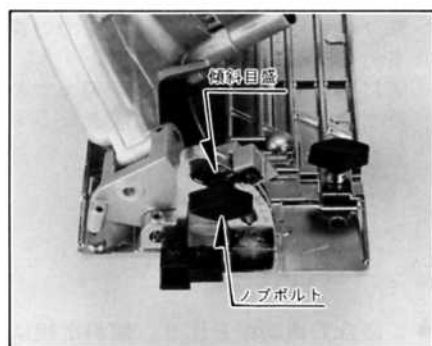
●刃口板

- 刃口板は、定盤裏面の2本のサラビスをゆるめ、刃物に接触しない範囲でできるだけ狭く調整して下さい。
- 調整後は必ずビスを締付け刃口板を固定して下さい。
- 刃口板を調整することにより、かえりの少ない、美しい切断面が得られます。



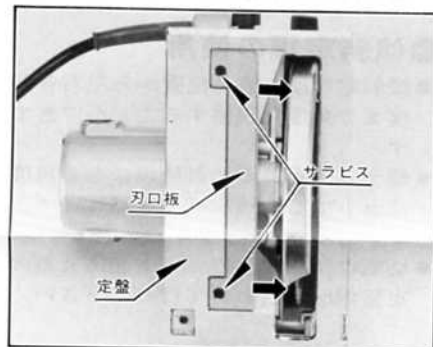
●傾斜角の調整

- 定盤前後の2個のノブボルトをゆるめ調整します。
 - 鋸刃は0～45度まで傾けて切断することができます。
 - 傾斜角度を決めたら必ずノブボルトを締付け固定して下さい。
- (注意) 傾斜切断をする場合は鋸刃に刃口板が接触しないように注意して下さい。



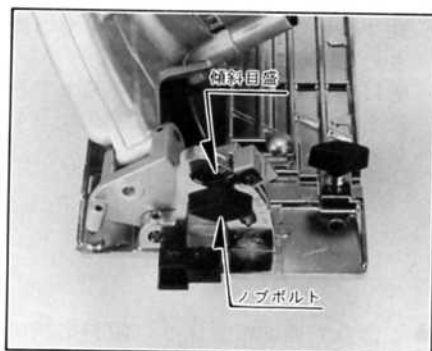
●刃口板

- 刃口板は、定盤裏面の2本のサラビスをゆるめ、刃物に接触しない範囲でできるだけ狭く調整して下さい。
- 調整後は必ずビスを締付け刃口板を固定して下さい。
- 刃口板を調整することにより、かえりの少ない、美しい切断面が得られます。



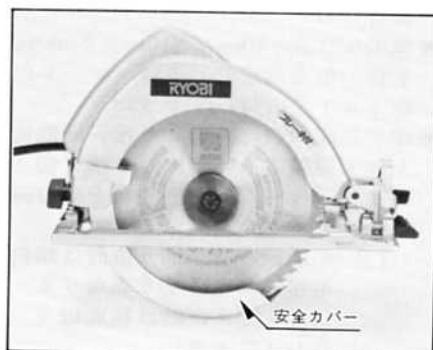
●傾斜角の調整

- 定盤前後の2個のノブボルトをゆるめ調整します。
 - 鋸刃は0～45度まで傾けて切断することができます。
 - 傾斜角度を決めたら必ずノブボルトを締付け固定して下さい。
- (注意) 傾斜切断をする場合は鋸刃に刃口板が接触しないように注意して下さい。



●安全カバー

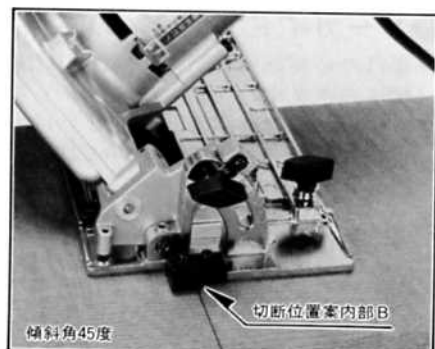
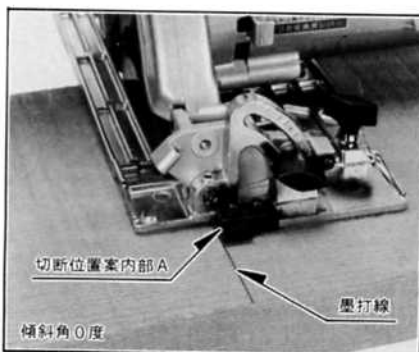
- 事故を未然に防ぐため安全カバーを付けてあります。
- 安全カバーは作業中自動的に持ち上がり、作業が終る時は自動的に鋸刃を覆いますので安全な作業ができます。



●切断位置

- 傾斜角0度の場合は定盤先端の切断位置案内内部(Aの位置)を墨打線に沿わせて加工して下さい。
- 傾斜角45度の場合、Bの位置を墨打線に合わせて下さい。

- 切断位置案内内部は、2本のビスをゆるめれば微調整ができます。鋸刃の厚み等が変った場合は、実際に切断をして合わせて下さい。



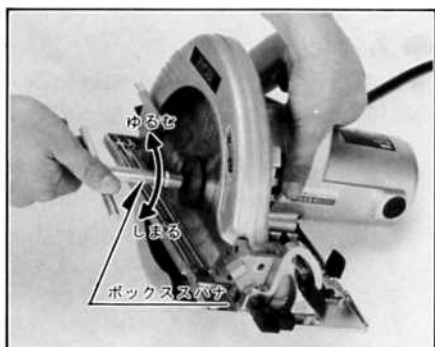
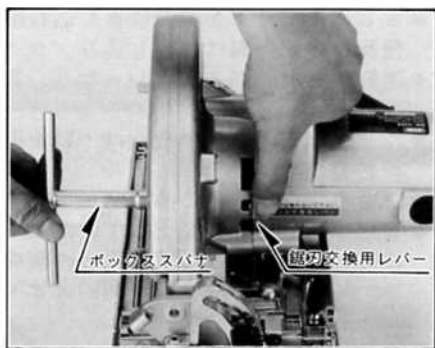
● 鋸刃の取付け・取外し

万一の事故に備えて必ず差し込みプラグを電源から外して下さい。

(取外し)

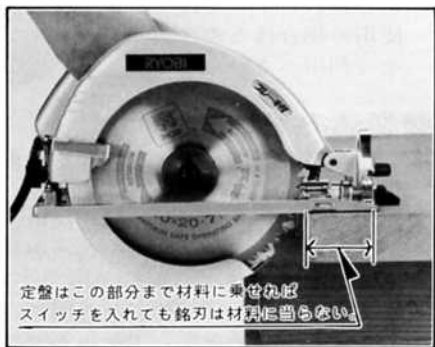
- 鋸刃交換用レバーを押さえた状態で丸鋸刃が固定されるまでゆっくりと丸鋸刃を手で回転させて下さい。
- 附属品のボックススパナで六角ボルトをゆるめます。
- 安全カバーをセフティーガードに沿わせて移動させます。
- 六角ボルト、外フランジ、丸鋸刃の順で取外します。
- 取付けは取外しの逆要領で行って下さい。

(注意) 鋸刃が回転中には、鋸刃交換用レバーを押さないで下さい。



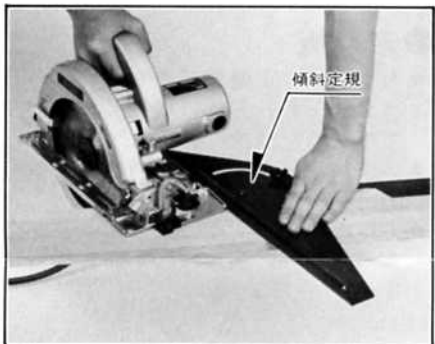
● 切断の要領

- 木材の上に定盤面をのせ、鋸刃が木材に触れない状態でスイッチを入れます。
 - 鋸刃の回転が上がり、一定の回転になりましたら定盤面を木材に密着させ、静かに前方へ押し進め、切断を行ないます。
- (作業のコツ)
- ひき肌を一樣にする為には進め方を一定の速さに保つことが大切です。
 - 材料の質に合った送り速度で切断作業を行って下さい。

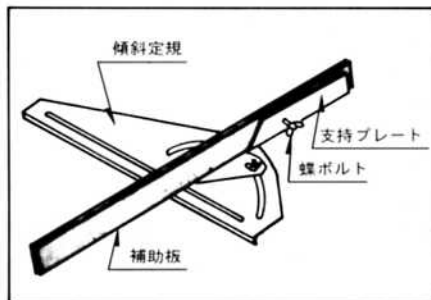


● 傾斜定規の使用

- 傾斜定規は、直角位置から左右各60度まで角度を調整することができます。
- 蝶ナットをゆるめ御使用になる角度にセットし、蝶ナットを締付けて下さい。
- 切断は傾斜定規のガイド面に丸鋸の定盤側面を沿わせて行って下さい。

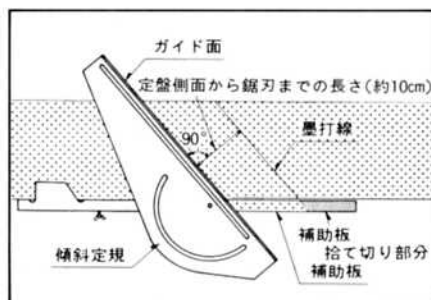
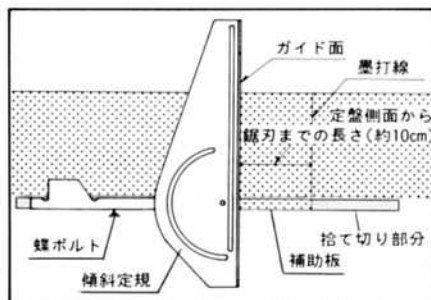


- 傾斜定規のガイド面と切断位置は、丸ノコの定盤側面から鋸刃までの長さ分(約10cm)離れています。墨打線より定盤側面から鋸刃までの長さ分だけ離して傾斜定規をセットして下さい。



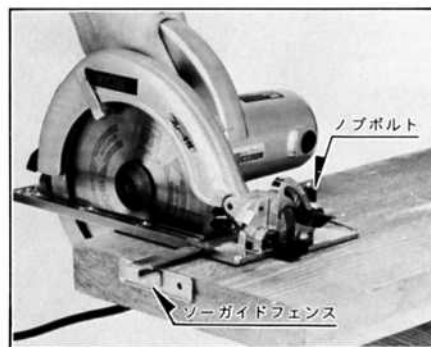
- ご自分で補助板を作り、傾斜定規に取付けますと傾斜定規の位置が簡単に合せられます。
- 補助板は高さ40mm厚さ10mm長さ500mm前後の板を用意し、支持プレートに蝶ボルトで取付けて下さい。
- 傾斜定規の角度を合せた後、補助板を鋸刃位置より長く出して捨て切ります。残った部分の先端を墨打線に合せて下さい。

(注意) 補助板の捨て切り位置は傾斜定規の角度により異なります。角度を変えた時は補助板をとりかえて下さい。



●ソーガイドフェンスの応用

- 墨打の必要がなく同寸法の加工が連続にできます。
- 切断巾寸法は丸鋸刃とソーガイドフェンスの案内面までの寸法によって決められます。
- ソーガイドフェンスは左右どちらにでも付けられます。



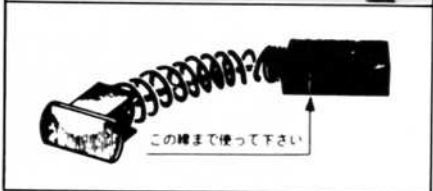
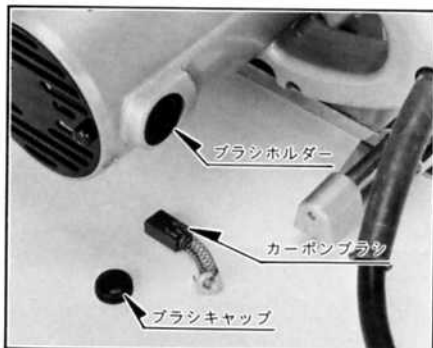
●特別附属品(別販売)

- ミゾホリカッター (外径110mm×内径20mm)

カッター巾	3 mm、	3.9mm、	4.5mm、	5.5mm、
	6 mm、	7.5mm、	9 mm、	

●保守と点検

- カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシは全長の $\frac{1}{3}$ ((線の入った位置)程度に摩耗したら新しいカーボンブラシと交換して下さい。短くなったカーボンブラシをそのまま使用しますと、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。
- カーボンブラシはブラシキャップをマイナスドライバーで取外せば簡単に取出せます。



この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、
厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、
その他取扱上ご不明な点があった場合には、ご遠慮
なくお買上げ店、最寄りのリョービ電動工具販売店、
もしくはリョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。

改良のため製品仕様が変わる事があります。

発売元



リョービ販売 株式
会社



リョービ 株式
会社